

新興国レポート

インド2021年4～6月期経済成長率20.1%増

コロナ禍で前年同期が大きく落ち込んだ反動もあり成長率は過去最大

- ▶ 2021年4～6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比20.1%増と過去最大となった。
- ▶ 発表当日のインド株式は史上最高値を更新。対ドルで回復傾向にあったインドルピーは続伸。
- ▶ 足元では新型コロナウイルスの感染が落ち着き、経済活動の正常化に向けた動きが進みつつある。
- ▶ インド経済の回復持続期待等を受け、インド株式やインドルピーの上昇傾向が続くものと予想する。

(1) 2021年4～6月期の成長率は過去最大

- インド政府が8月31日発表した2021年4～6月期実質GDP成長率は、前年同期比20.1%となりました（図表1）。前期の同1.6%から拡大し、基準年が改定された2011年4～6月期以降で過去最大の伸び率を記録しました。比較対象の2020年4～6月期の成長率が、新型コロナウイルスの感染拡大（第一波）（図表2）により2020年3月末から全土で都市封鎖が実施されたことから同24.4%減と大きく低下しており、その反動の影響もあるものと思われます。
- 2021年4～6月期は、建設業が前年同期比68.3%増、製造業が同49.6%増、貿易・宿泊・運輸・通信が同34.3%増となる等、幅広い業種で回復しています。

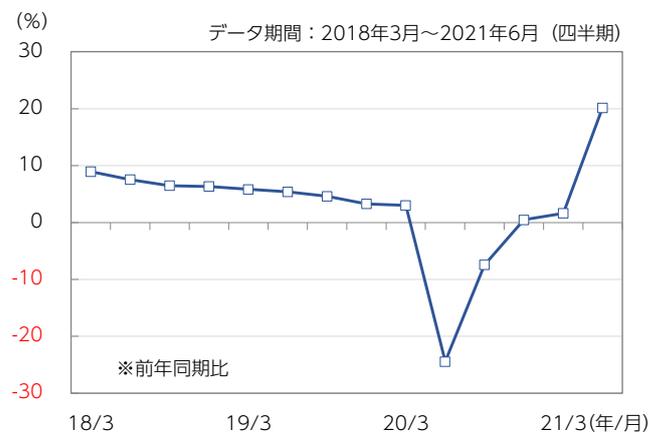
(2) 金額ベースではコロナ禍前を下回る

- 2021年4～6月期実質GDPの成長率は過去最大となったものの、金額は32.8兆インドルピー（約50兆円）と、コロナ禍前2019年4～6月期の35.7兆インドルピー（約54兆円）を9.2%下回っています。5月に1日当たり新規感染者数（7日間平均）が一時40万人近くに急増する等（図表2）、新型コロナウイルスの感染が再拡大し（第二波）、デリー州等インドの主要都市が都市封鎖を実施したことが回復の遅れにつながっているものと思われます。

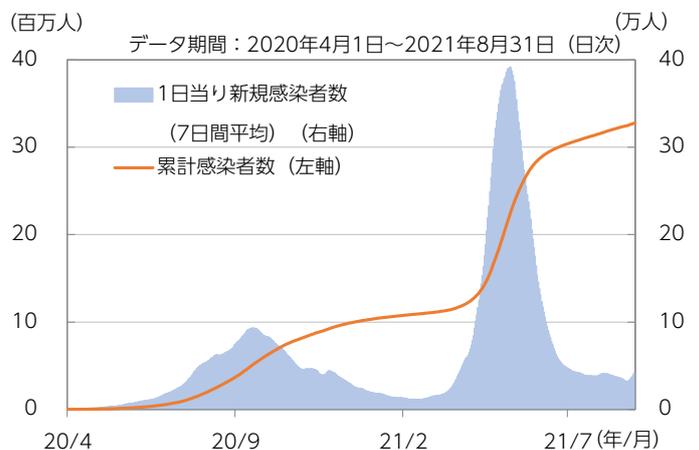
(3) 発表当日の株価は史上最高値更新

- 感染第二波の影響を懸念する向きもありましたが、成長率がほぼ市場の予想通りであったことが投資家の安心感を誘い、8月31日のインド株式（SENSEX指数）は初めて57,000台に乗せて史上最高値を更新し、また、対米ドルで回復傾向にあったインドルピーは続伸しました（図表3）。
- 足元では、新型コロナウイルスの感染が落ち着き（図表2）、経済活動の正常化に向けた動きが進みつつあるようです。インド経済の回復持続期待が高まり、インド株式や対米ドルでのインドルピーの上昇傾向が続くものと思われます。

図表1：インド実質GDP成長率の推移



図表2：インドの新型コロナウイルス感染状況



図表3：インド株式とインドルピーの動向



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>